

結 果 の 概 要

I 世帯数と世帯人員の状況

1 世帯構造及び世帯類型の状況

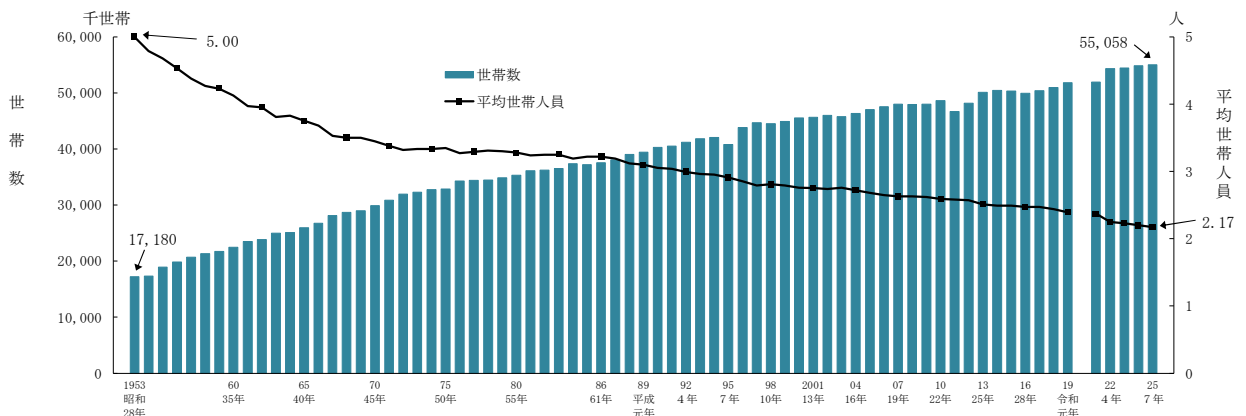
2025(令和7)年6月5日現在における全国の世帯総数は5505万8千世帯となっている。
世帯構造をみると、「単独世帯」が1947万7千世帯(全世帯の35.4%)で最も多く、
次いで「夫婦のみの世帯」が1362万6千世帯(同24.7%)、「夫婦と未婚の子のみの世帯」
が1340万6千世帯(同24.3%)となっている。
世帯類型をみると、「高齢者世帯」は1754万6千世帯(全世帯の31.9%)となっている。
(表1、図1)

表1 世帯構造別、世帯類型別世帯数及び平均世帯人員の年次推移

	総 数	世 帯 構 造						世 帯 類 型				平 均 世帯人員
		単独世帯	夫婦のみ の 世 帯	夫 婦 と 未 婚 の 子 のみの世帯	ひとり親と 未婚の子 のみの世帯	三 世 代 三 世	そ の 他 の 世 帯	高 齢 者 世 帯	母子世帯	父子世帯	そ の 他 の 世 帯	
推 計 数 (単位：千世帯)												(人)
1986 (昭和61)年	37 544	6 826	5 401	15 525	1 908	5 757	2 127	2 362	600	115	34 468	3.22
' 89 (平成元)	39 417	7 866	6 322	15 478	1 985	5 599	2 166	3 057	554	100	35 707	3.10
' 92 (4)	41 210	8 974	7 071	15 247	1 998	5 390	2 529	3 688	480	86	36 957	2.99
' 95 (7)	40 770	9 213	7 488	14 398	2 112	5 082	2 478	4 390	483	84	35 812	2.91
' 98 (10)	44 496	10 627	8 781	14 951	2 364	5 125	2 648	5 614	502	78	38 302	2.81
2001 (13)	45 664	11 017	9 403	14 872	2 618	4 844	2 909	6 654	587	80	38 343	2.75
' 04 (16)	46 323	10 817	10 161	15 125	2 774	4 512	2 934	7 874	627	90	37 732	2.72
' 07 (19)	48 023	11 983	10 636	15 015	3 006	4 045	3 337	9 009	717	100	38 197	2.63
' 10 (22)	48 638	12 386	10 994	14 922	3 180	3 835	3 320	10 207	708	77	37 646	2.59
' 13 (25)	50 112	13 285	11 644	14 899	3 621	3 329	3 334	11 614	821	91	37 586	2.51
' 16 (28)	49 945	13 434	11 850	14 744	3 640	2 947	3 330	13 271	712	91	35 871	2.47
' 19 (令和元)	51 785	14 907	12 639	14 718	3 616	2 627	3 278	14 878	644	76	36 187	2.39
' 22 (4)	54 310	17 852	13 330	14 022	3 666	2 086	3 353	16 931	565	75	36 738	2.25
' 23 (5)	54 452	18 495	13 395	13 516	3 731	2 050	3 264	16 560	560	71	37 261	2.23
' 24 (6)	54 825	18 995	13 544	13 218	3 912	1 868	3 289	17 207	590	60	36 968	2.20
' 25 (7)	55 058	19 477	13 626	13 406	3 687	1 700	3 162	17 546	543	69	36 899	2.17
構 成 割 合 (単位：%)												
1986 (昭和61)年	100.0	18.2	14.4	41.4	5.1	15.3	5.7	6.3	1.6	0.3	91.8	・
' 89 (平成元)	100.0	20.0	16.0	39.3	5.0	14.2	5.5	7.8	1.4	0.3	90.6	・
' 92 (4)	100.0	21.8	17.2	37.0	4.8	13.1	6.1	8.9	1.2	0.2	89.7	・
' 95 (7)	100.0	22.6	18.4	35.3	5.2	12.5	6.1	10.8	1.2	0.2	87.8	・
' 98 (10)	100.0	23.9	19.7	33.6	5.3	11.5	6.0	12.6	1.1	0.2	86.1	・
2001 (13)	100.0	24.1	20.6	32.6	5.7	10.6	6.4	14.6	1.3	0.2	84.0	・
' 04 (16)	100.0	23.4	21.9	32.7	6.0	9.7	6.3	17.0	1.4	0.2	81.5	・
' 07 (19)	100.0	25.0	22.1	31.3	6.3	8.4	6.9	18.8	1.5	0.2	79.5	・
' 10 (22)	100.0	25.5	22.6	30.7	6.5	7.9	6.8	21.0	1.5	0.2	77.4	・
' 13 (25)	100.0	26.5	23.2	29.7	7.2	6.6	6.7	23.2	1.6	0.2	75.0	・
' 16 (28)	100.0	26.9	23.7	29.5	7.3	5.9	6.7	26.6	1.4	0.2	71.8	・
' 19 (令和元)	100.0	28.8	24.4	28.4	7.0	5.1	6.3	28.7	1.2	0.1	69.9	・
' 22 (4)	100.0	32.9	24.5	25.8	6.8	3.8	6.2	31.2	1.0	0.1	67.6	・
' 23 (5)	100.0	34.0	24.6	24.8	6.9	3.8	6.0	30.4	1.0	0.1	68.4	・
' 24 (6)	100.0	34.6	24.7	24.1	7.1	3.4	6.0	31.4	1.1	0.1	67.4	・
' 25 (7)	100.0	35.4	24.7	24.3	6.7	3.1	5.7	31.9	1.0	0.1	67.0	・

注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。
2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。

図1 世帯数と平均世帯人員の年次推移



注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。
2) 2011(平成23)年の数値は、岩手県、宮城県及び福島県を除いたものである。
3) 2012(平成24)年の数値は、福島県を除いたものである。
4) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。
5) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。

2 65歳以上の者のいる世帯の状況

65歳以上の者のいる世帯は2761万4千世帯（全世帯の50.2%）となっている。

世帯構造をみると、「単独世帯」が933万5千世帯（65歳以上の者のいる世帯の33.8%）で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が882万8千世帯（同32.0%）、「親と未婚の子のみの世帯」が554万9千世帯（同20.1%）となっている。（表2、図2）

表2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移

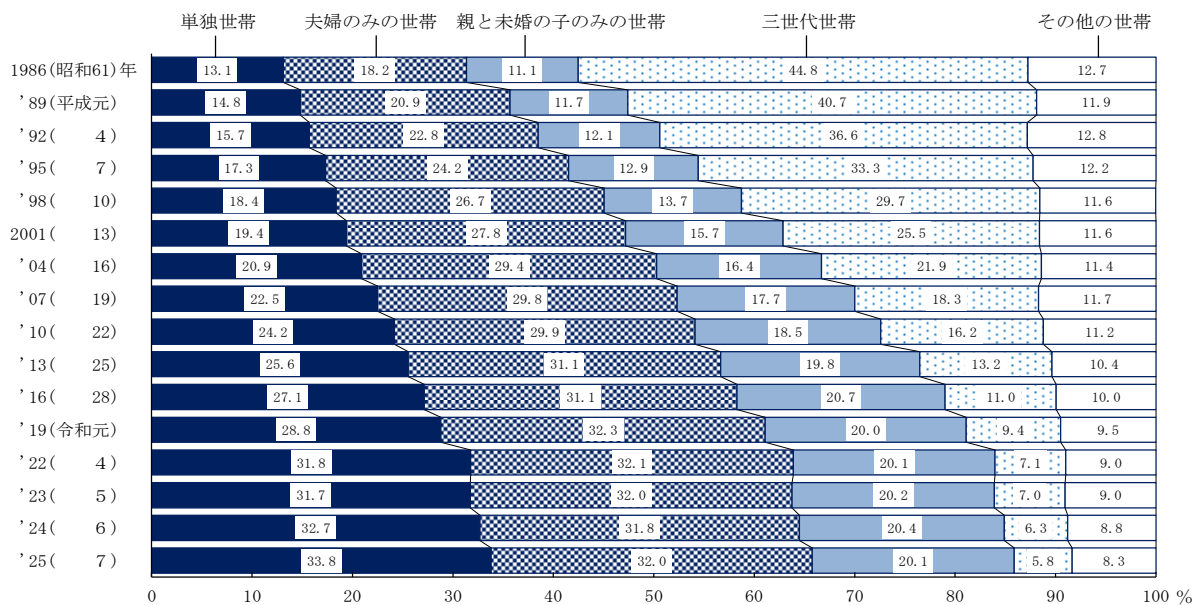
	65歳以上の者のいる世帯	全世帯に占める割合(%)	単独世帯	夫婦のみの世帯	親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	(再掲) 65歳以上の者のみの世帯
推 計 数 (単位：千世帯)								
1986(昭和61)年	9 769	(26.0)	1 281	1 782	1 086	4 375	1 245	2 339
'89(平成元)	10 774	(27.3)	1 592	2 257	1 260	4 385	1 280	3 035
'92(4)	11 884	(28.8)	1 865	2 706	1 439	4 348	1 527	3 666
'95(7)	12 695	(31.1)	2 199	3 075	1 636	4 232	1 553	4 370
'98(10)	14 822	(33.3)	2 724	3 956	2 025	4 401	1 715	5 597
2001(13)	16 367	(35.8)	3 179	4 545	2 563	4 179	1 902	6 636
'04(16)	17 864	(38.6)	3 730	5 252	2 931	3 919	2 031	7 855
'07(19)	19 263	(40.1)	4 326	5 732	3 418	3 528	2 260	8 986
'10(22)	20 705	(42.6)	5 018	6 190	3 836	3 348	2 313	10 188
'13(25)	22 420	(44.7)	5 730	6 974	4 442	2 953	2 321	11 594
'16(28)	24 165	(48.4)	6 559	7 526	5 007	2 668	2 405	13 252
'19(令和元)	25 584	(49.4)	7 369	8 270	5 118	2 404	2 423	14 856
'22(4)	27 474	(50.6)	8 730	8 821	5 514	1 947	2 463	16 915
'23(5)	26 951	(49.5)	8 553	8 635	5 432	1 898	2 433	16 537
'24(6)	27 604	(50.3)	9 031	8 786	5 619	1 751	2 416	17 190
'25(7)	27 614	(50.2)	9 335	8 828	5 549	1 597	2 305	17 532
構 成 割 合 (単位：%)								
1986(昭和61)年	100.0	・	13.1	18.2	11.1	44.8	12.7	23.9
'89(平成元)	100.0	・	14.8	20.9	11.7	40.7	11.9	28.2
'92(4)	100.0	・	15.7	22.8	12.1	36.6	12.8	30.8
'95(7)	100.0	・	17.3	24.2	12.9	33.3	12.2	34.4
'98(10)	100.0	・	18.4	26.7	13.7	29.7	11.6	37.8
2001(13)	100.0	・	19.4	27.8	15.7	25.5	11.6	40.5
'04(16)	100.0	・	20.9	29.4	16.4	21.9	11.4	44.0
'07(19)	100.0	・	22.5	29.8	17.7	18.3	11.7	46.6
'10(22)	100.0	・	24.2	29.9	18.5	16.2	11.2	49.2
'13(25)	100.0	・	25.6	31.1	19.8	13.2	10.4	51.7
'16(28)	100.0	・	27.1	31.1	20.7	11.0	10.0	54.8
'19(令和元)	100.0	・	28.8	32.3	20.0	9.4	9.5	58.1
'22(4)	100.0	・	31.8	32.1	20.1	7.1	9.0	61.6
'23(5)	100.0	・	31.7	32.0	20.2	7.0	9.0	61.4
'24(6)	100.0	・	32.7	31.8	20.4	6.3	8.8	62.3
'25(7)	100.0	・	33.8	32.0	20.1	5.8	8.3	63.5

注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。

3) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

図2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移



注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。

3) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

65歳以上の者のいる世帯のうち、高齢者世帯の世帯構造をみると、「単独世帯」が933万5千世帯（高齢者世帯の53.2%）、「夫婦のみの世帯」が755万9千世帯（同43.1%）となっている（表3、図3）。

「単独世帯」をみると、男は37.6%、女は62.4%となっている。

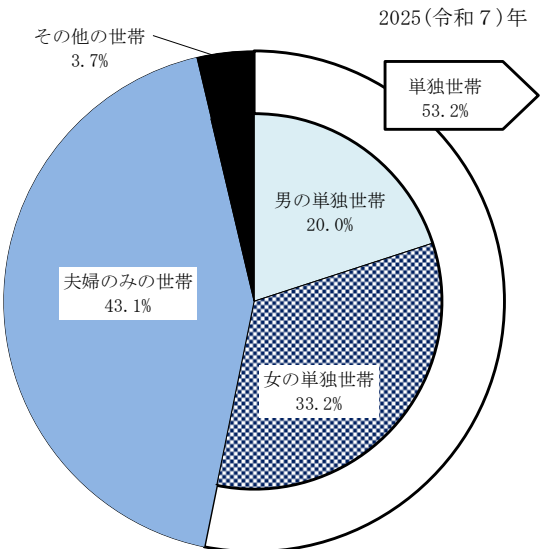
性別に年齢構成をみると、男は「70～74歳」が25.0%、女は「85歳以上」が24.5%で最も多くなっている。（図4）

表3 高齢者世帯の世帯構造の年次推移

	高齢者世帯	全世帯に占める割合(%)	単独世帯	男の単独世帯	女の単独世帯	夫婦のみの世帯	その他の世帯
			推 計	数 (単位：千世帯)			
1986 (昭和61)年	2 362	(6.3)	1 281	246	1 035	1 001	80
'89 (平成元)	3 057	(7.8)	1 592	307	1 285	1 377	88
'92 (4)	3 688	(8.9)	1 865	348	1 517	1 704	119
'95 (7)	4 390	(10.8)	2 199	449	1 751	2 050	141
'98 (10)	5 614	(12.6)	2 724	555	2 169	2 712	178
2001 (13)	6 654	(14.6)	3 179	728	2 451	3 257	218
'04 (16)	7 874	(17.0)	3 730	906	2 824	3 899	245
'07 (19)	9 009	(18.8)	4 326	1 174	3 153	4 390	292
'10 (22)	10 207	(21.0)	5 018	1 420	3 598	4 876	313
'13 (25)	11 614	(23.2)	5 730	1 659	4 071	5 513	371
'16 (28)	13 271	(26.6)	6 559	2 095	4 464	6 196	516
'19 (令和元)	14 878	(28.7)	7 369	2 577	4 793	6 938	571
'22 (4)	16 931	(31.2)	8 730	3 138	5 592	7 562	640
'23 (5)	16 560	(30.4)	8 553	3 042	5 511	7 303	704
'24 (6)	17 207	(31.4)	9 031	3 255	5 777	7 498	678
'25 (7)	17 546	(31.9)	9 335	3 511	5 824	7 559	653
			構 成 割 合	(単位：%)			
1986 (昭和61)年	100.0	・	54.2	10.4	43.8	42.4	3.4
'89 (平成元)	100.0	・	52.1	10.0	42.0	45.0	2.9
'92 (4)	100.0	・	50.6	9.4	41.1	46.2	3.2
'95 (7)	100.0	・	50.1	10.2	39.9	46.7	3.2
'98 (10)	100.0	・	48.5	9.9	38.6	48.3	3.2
2001 (13)	100.0	・	47.8	10.9	36.8	49.0	3.3
'04 (16)	100.0	・	47.4	11.5	35.9	49.5	3.1
'07 (19)	100.0	・	48.0	13.0	35.0	48.7	3.2
'10 (22)	100.0	・	49.2	13.9	35.3	47.8	3.1
'13 (25)	100.0	・	49.3	14.3	35.1	47.5	3.2
'16 (28)	100.0	・	49.4	15.8	33.6	46.7	3.9
'19 (令和元)	100.0	・	49.5	17.3	32.2	46.6	3.8
'22 (4)	100.0	・	51.6	18.5	33.0	44.7	3.8
'23 (5)	100.0	・	51.6	18.4	33.3	44.1	4.2
'24 (6)	100.0	・	52.5	18.9	33.6	43.6	3.9
'25 (7)	100.0	・	53.2	20.0	33.2	43.1	3.7

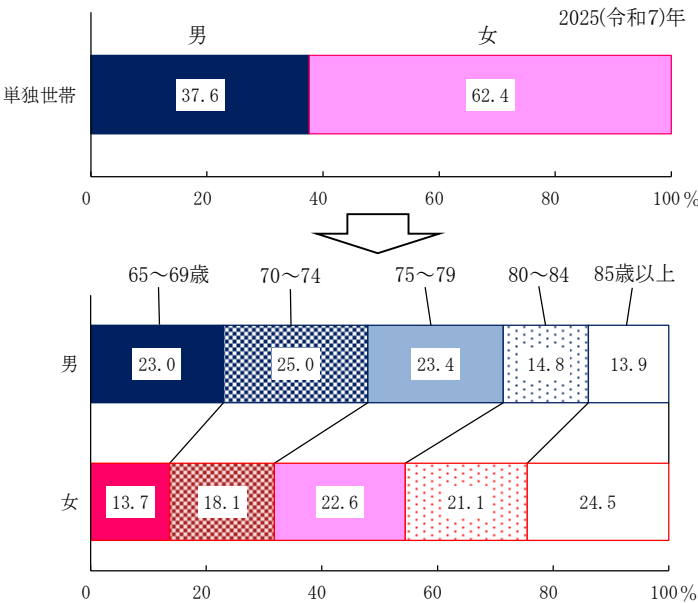
注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。
2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。
3) 「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世代世帯」を含む。

図3 高齢者世帯の世帯構造



注：「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世代世帯」を含む。

図4 65歳以上の単独世帯の性・年齢構成



3 65歳以上の者の状況

65歳以上の者は4024万5千人となっている。

家族形態をみると、「夫婦のみの世帯」（夫婦の両方又は一方が65歳以上）の者が1638万7千人（65歳以上の者の40.7%）で最も多く、次いで「子と同居」の者が1296万6千人（同32.2%）、「単独世帯」の者が933万5千人（同23.2%）となっている。（表4）

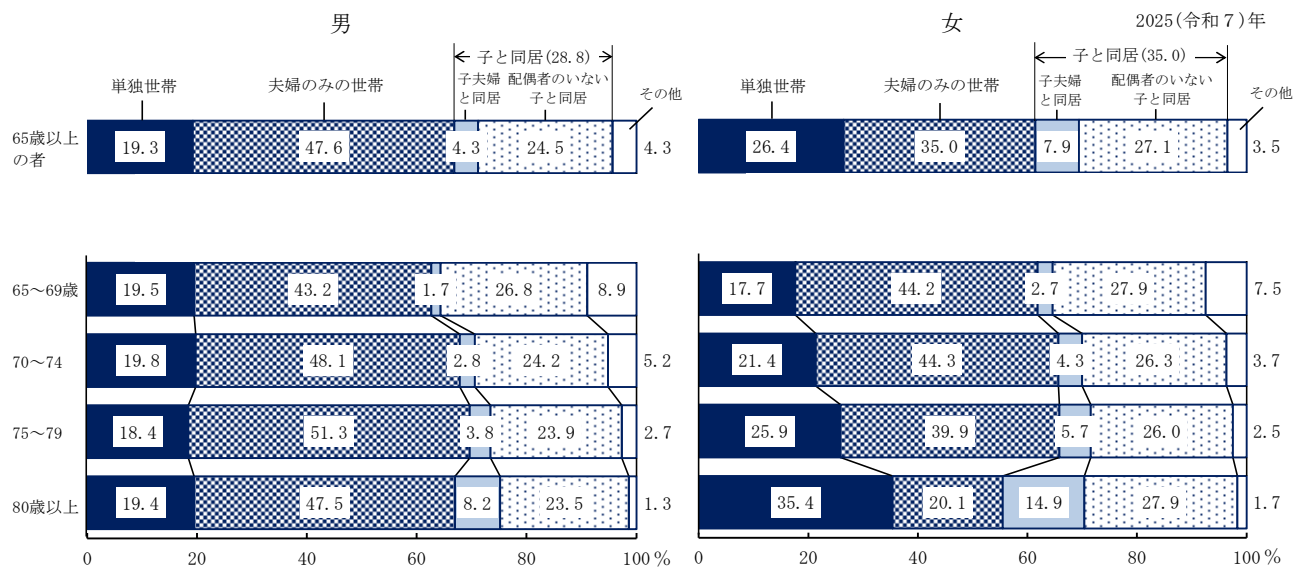
表4 65歳以上の者の家族形態の年次推移

	65歳以上の者	単独世帯	夫婦のみの世帯	子と同居	子夫婦と同居	配偶者のいない子と同居	その他の親族と同居	非親族と同居
推 計 数 （単位：千人）								
1986（昭和61）年	12 626	1 281	2 784	8 116	5 897	2 219	409	37
’89（平成元）	14 239	1 592	3 634	8 539	6 016	2 524	445	29
’92（ 4）	15 986	1 865	4 410	9 122	6 188	2 934	549	41
’95（ 7）	17 449	2 199	5 125	9 483	6 192	3 291	611	31
’98（10）	20 620	2 724	6 669	10 374	6 443	3 931	816	36
2001（13）	23 073	3 179	7 802	11 173	6 332	4 841	878	41
’04（16）	25 424	3 730	9 151	11 571	5 995	5 576	916	55
’07（19）	27 584	4 326	10 122	12 034	5 406	6 629	1 056	45
’10（22）	29 768	5 018	11 065	12 577	5 203	7 374	1 081	27
’13（25）	32 394	5 730	12 487	12 950	4 498	8 452	1 193	33
’16（28）	35 315	6 559	13 721	13 570	4 034	9 536	1 420	44
’19（令和元）	37 631	7 369	15 208	13 527	3 756	9 771	1 492	35
’22（ 4）	40 297	8 730	16 383	13 569	3 038	10 531	1 562	54
’23（ 5）	39 527	8 553	15 938	13 378	3 155	10 223	1 584	74
’24（ 6）	40 326	9 031	16 284	13 346	2 899	10 447	1 608	57
’25（ 7）	40 245	9 335	16 387	12 966	2 529	10 436	1 501	57
構 成 割 合 （単位：％）								
1986（昭和61）年	100.0	10.1	22.0	64.3	46.7	17.6	3.2	0.3
’89（平成元）	100.0	11.2	25.5	60.0	42.2	17.7	3.1	0.2
’92（ 4）	100.0	11.7	27.6	57.1	38.7	18.4	3.4	0.3
’95（ 7）	100.0	12.6	29.4	54.3	35.5	18.9	3.5	0.2
’98（10）	100.0	13.2	32.3	50.3	31.2	19.1	4.0	0.2
2001（13）	100.0	13.8	33.8	48.4	27.4	21.0	3.8	0.2
’04（16）	100.0	14.7	36.0	45.5	23.6	21.9	3.6	0.2
’07（19）	100.0	15.7	36.7	43.6	19.6	24.0	3.8	0.2
’10（22）	100.0	16.9	37.2	42.2	17.5	24.8	3.6	0.1
’13（25）	100.0	17.7	38.5	40.0	13.9	26.1	3.7	0.1
’16（28）	100.0	18.6	38.9	38.4	11.4	27.0	4.0	0.1
’19（令和元）	100.0	19.6	40.4	35.9	10.0	26.0	4.0	0.1
’22（ 4）	100.0	21.7	40.7	33.7	7.5	26.1	3.9	0.1
’23（ 5）	100.0	21.6	40.3	33.8	8.0	25.9	4.0	0.2
’24（ 6）	100.0	22.4	40.4	33.1	7.2	25.9	4.0	0.1
’25（ 7）	100.0	23.2	40.7	32.2	6.3	25.9	3.7	0.1

注：1）1995（平成7）年の数値は、兵庫県を除いたものである。
2）2016（平成28）年の数値は、熊本県を除いたものである。

性・年齢階級別にみると、男は「夫婦のみの世帯」の割合が高くなっており、女は年齢が高くなるにしたがって「単独世帯」と「子夫婦と同居」の割合が高くなっている（図5）。

図5 性・年齢階級別にみた65歳以上の者の家族形態



注：「その他」とは、「その他の親族と同居」及び「非親族と同居」をいう。

4 児童のいる世帯の状況

児童のいる世帯は917万4千世帯で全世帯の16.7%となっており、児童が「1人」いる世帯は460万世帯（全世帯の8.4%、児童のいる世帯の50.1%）、「2人」いる世帯は351万6千世帯（全世帯の6.4%、児童のいる世帯の38.3%）となっている。

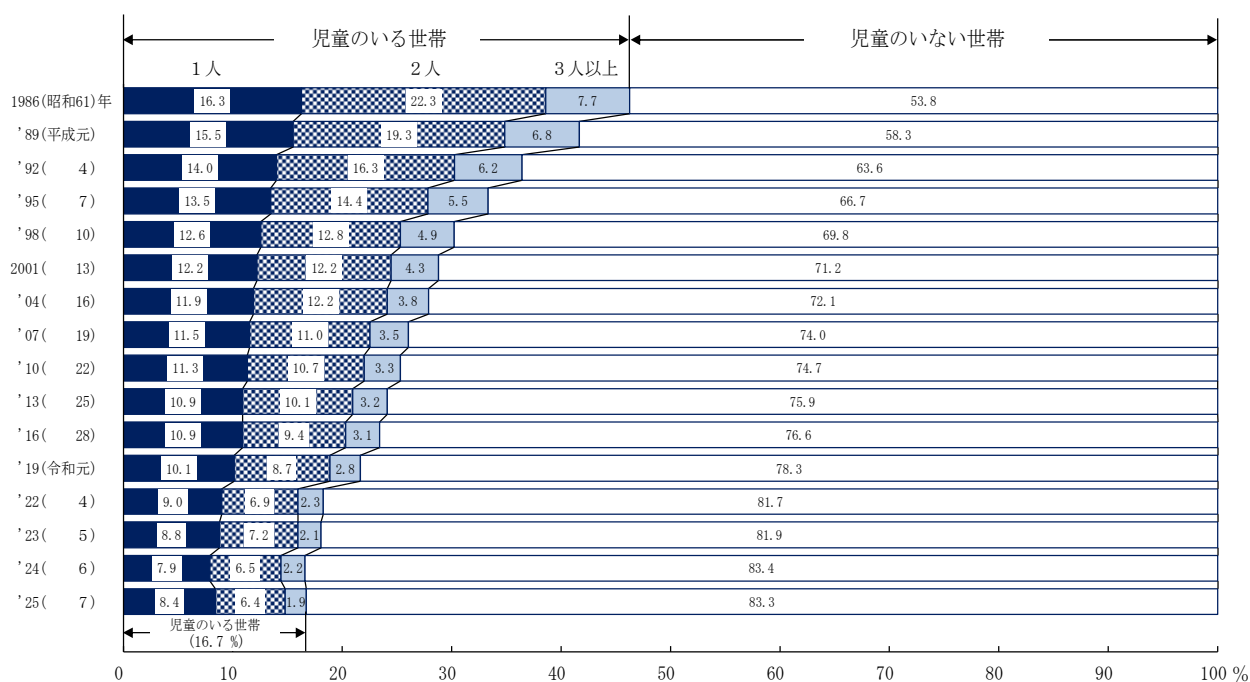
世帯構造をみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が718万8千世帯（児童のいる世帯の78.4%）で最も多く、次いで「三世帯世帯」が86万8千世帯（同9.5%）となっている。（表5、図6）

表5 児童数別、世帯構造別児童のいる世帯数及び平均児童数の年次推移

	児童のいる世帯	全世帯に占める割合(%)	児童数			世帯構造					児童のいる世帯の平均児童数
			1人	2人	3人以上	核家族世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	
1986(昭和61)年	17 364	(46.2)	6 107	8 381	2 877	12 080	11 359	722	4 688	596	1.83
'89(平成元)	16 426	(41.7)	6 119	7 612	2 695	11 419	10 742	677	4 415	592	1.81
'92(4)	15 009	(36.4)	5 772	6 697	2 540	10 371	9 800	571	4 087	551	1.80
'95(7)	13 586	(33.3)	5 495	5 854	2 237	9 419	8 840	580	3 658	509	1.78
'98(10)	13 453	(30.2)	5 588	5 679	2 185	9 420	8 820	600	3 548	485	1.77
2001(13)	13 156	(28.8)	5 581	5 594	1 981	9 368	8 701	667	3 255	534	1.75
'04(16)	12 916	(27.9)	5 510	5 667	1 739	9 589	8 851	738	2 902	425	1.73
'07(19)	12 499	(26.0)	5 544	5 284	1 671	9 489	8 645	844	2 498	511	1.71
'10(22)	12 324	(25.3)	5 514	5 181	1 628	9 483	8 669	813	2 320	521	1.70
'13(25)	12 085	(24.1)	5 457	5 048	1 580	9 618	8 707	912	1 965	503	1.70
'16(28)	11 666	(23.4)	5 436	4 702	1 527	9 386	8 576	810	1 717	564	1.69
'19(令和元)	11 221	(21.7)	5 250	4 523	1 448	9 252	8 528	724	1 488	480	1.68
'22(4)	9 917	(18.3)	4 889	3 772	1 256	8 374	7 744	629	1 104	439	1.66
'23(5)	9 835	(18.1)	4 782	3 902	1 152	8 106	7 465	642	1 105	624	1.65
'24(6)	9 074	(16.6)	4 329	3 556	1 059	7 842	7 183	659	975	257	1.68
'25(7)	9 174	(16.7)	4 600	3 516	1 059	7 809	7 188	621	868	497	1.63
構成割合 (単位: %)											
1986(昭和61)年	100.0	・	35.2	48.3	16.6	69.6	65.4	4.2	27.0	3.4	・
'89(平成元)	100.0	・	37.2	46.3	16.4	69.5	65.4	4.1	26.9	3.6	・
'92(4)	100.0	・	38.5	44.6	16.9	69.1	65.3	3.8	27.2	3.7	・
'95(7)	100.0	・	40.4	43.1	16.5	69.3	65.1	4.3	26.9	3.7	・
'98(10)	100.0	・	41.5	42.2	16.2	70.0	65.6	4.5	26.4	3.6	・
2001(13)	100.0	・	42.4	42.5	15.1	71.2	66.1	5.1	24.7	4.1	・
'04(16)	100.0	・	42.7	43.9	13.5	74.2	68.5	5.7	22.5	3.3	・
'07(19)	100.0	・	44.4	42.3	13.4	75.9	69.2	6.8	20.0	4.1	・
'10(22)	100.0	・	44.7	42.0	13.2	76.9	70.3	6.6	18.8	4.2	・
'13(25)	100.0	・	45.2	41.8	13.1	79.6	72.0	7.5	16.3	4.2	・
'16(28)	100.0	・	46.6	40.3	13.1	80.5	73.5	6.9	14.7	4.8	・
'19(令和元)	100.0	・	46.8	40.3	12.9	82.5	76.0	6.5	13.3	4.3	・
'22(4)	100.0	・	49.3	38.0	12.7	84.4	78.1	6.3	11.1	4.4	・
'23(5)	100.0	・	48.6	39.7	11.7	82.4	75.9	6.5	11.2	6.3	・
'24(6)	100.0	・	47.7	39.2	13.1	86.4	79.2	7.3	10.7	2.8	・
'25(7)	100.0	・	50.1	38.3	11.5	85.1	78.4	6.8	9.5	5.4	・

注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。
2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。
3) 「その他の世帯」には、「単独世帯」を含む。

図6 児童の有（児童数）無の年次推移



注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。
2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。

児童のいる世帯における母の仕事の状況をみると、「仕事あり」の割合は81.2%となっている（表6、図7）。

表6 児童のいる世帯における母の仕事の状況の年次推移

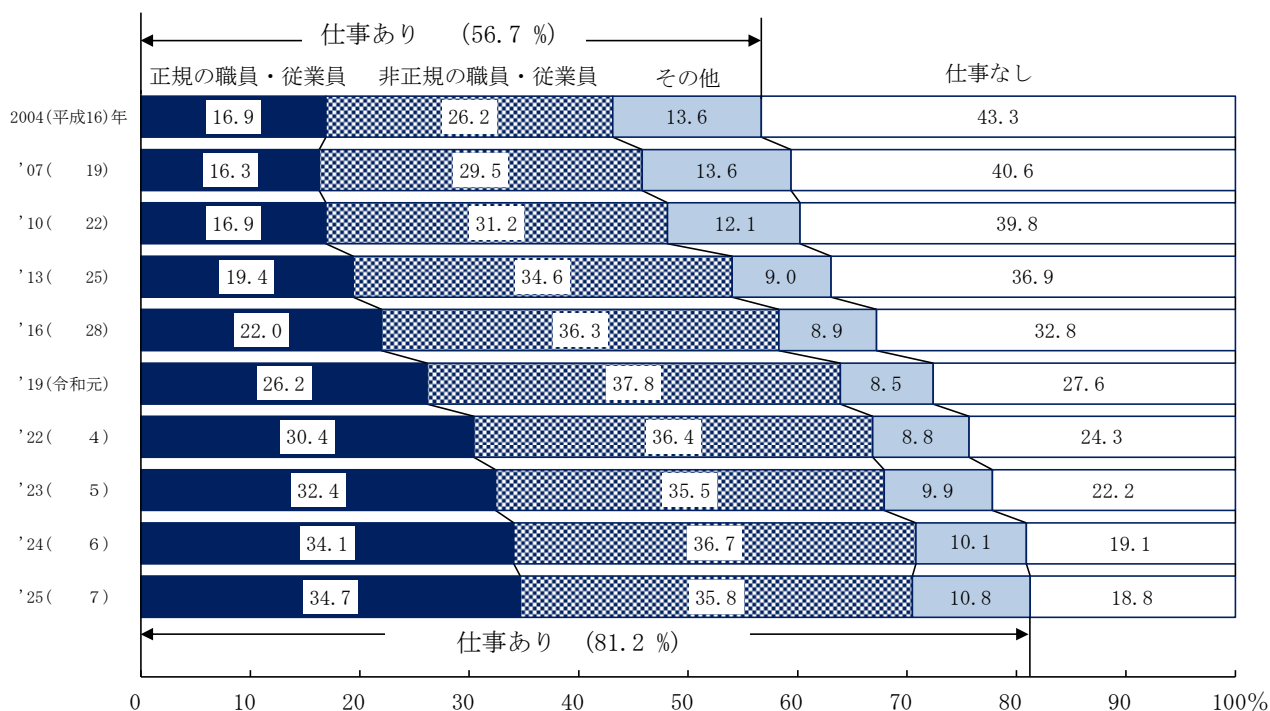
	総数	仕事あり	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	非正規の 職 員 ・ 従 業 員	その他	仕事なし
推計数（単位：千世帯）						
2004（平成16）年	12 542	7 109	2 115	3 286	1 707	5 433
’07（ 19）	12 058	7 158	1 968	3 553	1 637	4 900
’10（ 22）	11 945	7 190	2 019	3 731	1 439	4 756
’13（ 25）	11 711	7 384	2 269	4 056	1 059	4 326
’16（ 28）	11 221	7 536	2 464	4 068	1 004	3 685
’19（令和元）	10 872	7 869	2 843	4 105	921	3 003
’22（ 4）	9 618	7 277	2 927	3 504	846	2 341
’23（ 5）	9 274	7 212	3 002	3 292	918	2 063
’24（ 6）	8 886	7 188	3 028	3 264	896	1 698
’25（ 7）	8 783	7 135	3 044	3 144	946	1 648
構成割合（単位：%）						
2004（平成16）年	100.0	56.7	16.9	26.2	13.6	43.3
’07（ 19）	100.0	59.4	16.3	29.5	13.6	40.6
’10（ 22）	100.0	60.2	16.9	31.2	12.1	39.8
’13（ 25）	100.0	63.1	19.4	34.6	9.0	36.9
’16（ 28）	100.0	67.2	22.0	36.3	8.9	32.8
’19（令和元）	100.0	72.4	26.2	37.8	8.5	27.6
’22（ 4）	100.0	75.7	30.4	36.4	8.8	24.3
’23（ 5）	100.0	77.8	32.4	35.5	9.9	22.2
’24（ 6）	100.0	80.9	34.1	36.7	10.1	19.1
’25（ 7）	100.0	81.2	34.7	35.8	10.8	18.8

注：1）2016（平成28）年の数値は、熊本県を除いたものである。

2）母の「仕事の有無不詳」を含まない。

3）「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。

図7 児童のいる世帯における母の仕事の状況の年次推移



注：1）2016（平成28）年の数値は、熊本県を除いたものである。

2）母の「仕事の有無不詳」を含まない。

3）「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。